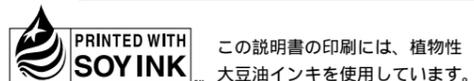


本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



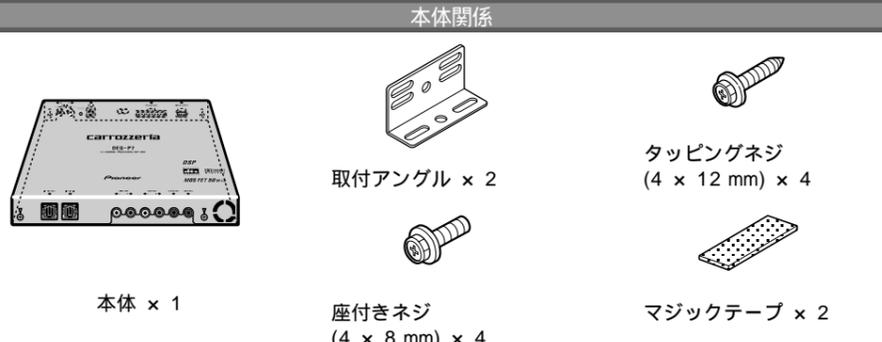
この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

パイオニア株式会社
〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。
© パイオニア株式会社 2002
< KMMZF/02B00000 > < CRA3295-B >

はじめに 1 接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1

取付アングル × 2

座付きネジ (4 × 8 mm) × 4

タッピングネジ (4 × 12 mm) × 4

マジックテープ × 2

コード関係



電源コード × 1

スピーカー出力延長コード (3 m) × 5

コルゲートチューブ (2.5 m) × 1

スピーカー出力コード × 1

光デジタルライン (3 m) × 1

クランパー × 2

IP-BUSケーブル (3 m) × 1

RCAオーディオコード (白・赤) (3 m) × 1

接続 1 接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの(-)リード線を、共通にして接続しないでください。

黒リード線 (アース) は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

接続のポイント

IP-BUS、光デジタルラインの接続について
IP-BUSおよび光デジタルラインの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクタの接続部分が色分けされています。)

光デジタルラインを接続するときは、キャップを外してから接続してください。

ノイズ防止のために

アンテナコードは、20ピンケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

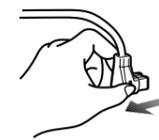
電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクタの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



光デジタルラインについて

光デジタルラインは鋭く曲げないでください。やむを得ず小さく曲げるときは、半径 25 mm 以上にしてください。鋭く曲げると信号の伝達が妨げられ音質に影響を与えます。

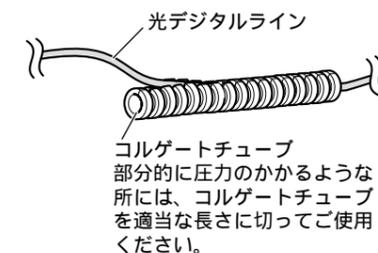
光デジタルラインは、上に荷物や人が乗らない場所、ドアなどではさまない場所に配置してください。

光デジタルラインは、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所を避けて配置してください。

余った光デジタルラインは直径200 mm以上のループにして、圧力がかからないようにしてください。

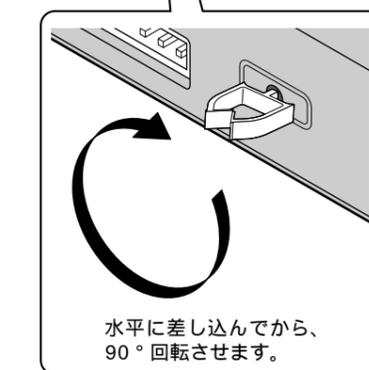
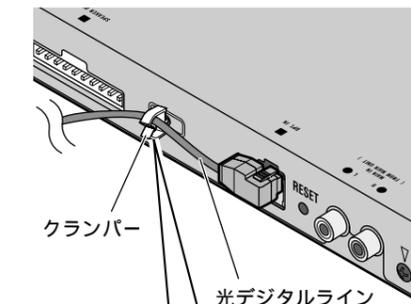
コルゲートチューブの使いかた

光デジタルライン保護のため部分的に圧力がかかるようなところには、付属のコルゲートチューブを使用して光デジタルラインを保護してください。

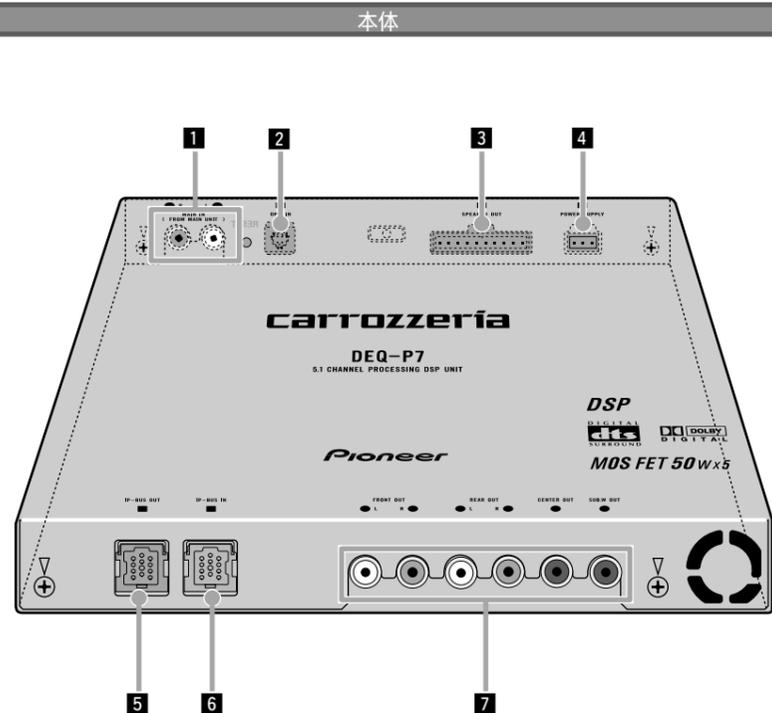


クランパーの取り付け

光デジタルラインを接続する場合、クランパーを使用することにより光デジタルラインが鋭く曲がらないように設置することができます。(もう一つのクランパーは、メインユニット背面に取り付け、光デジタルラインを固定するのに使用することができます。)



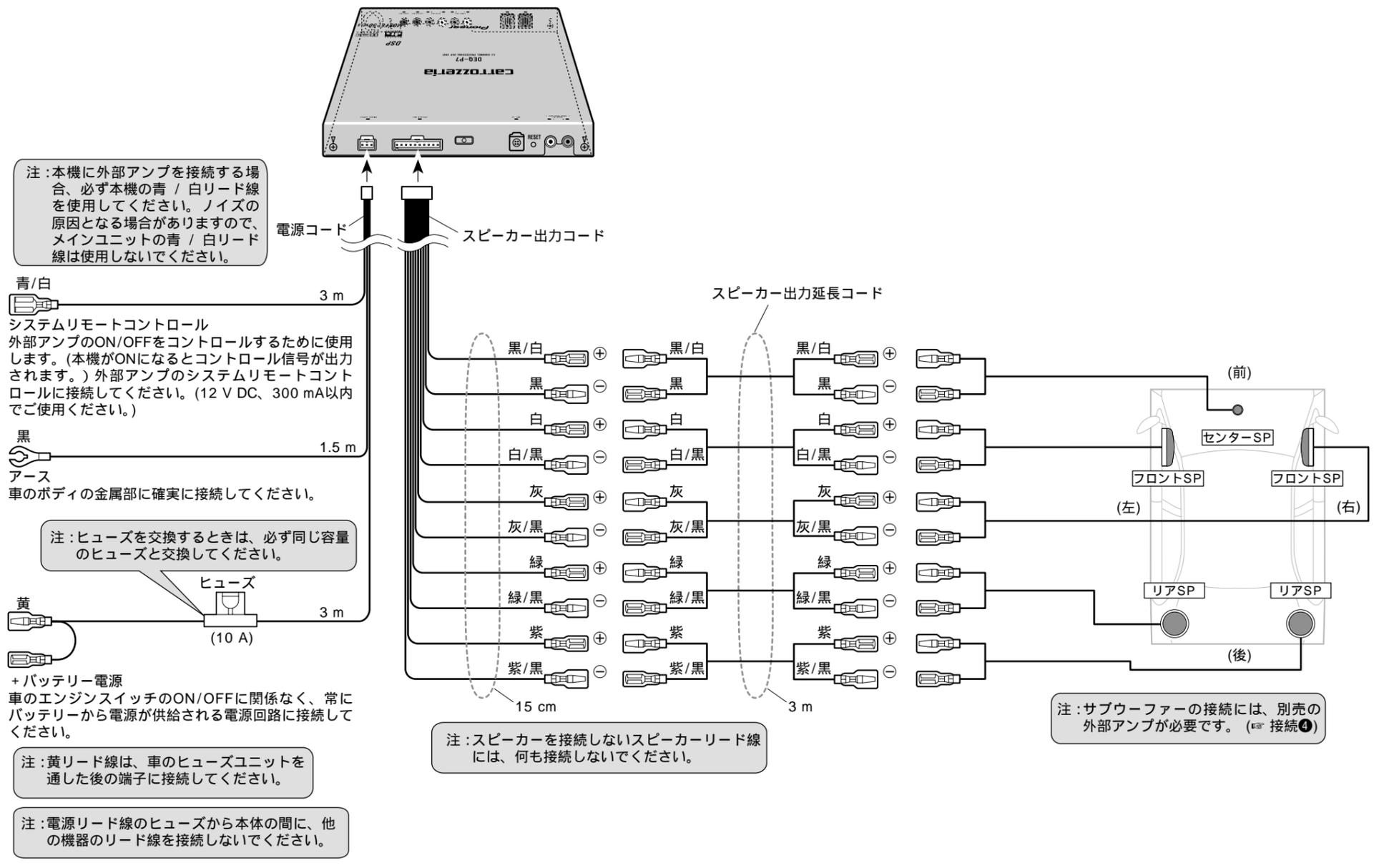
接続 2 接続端子のなまえと働き



- 1** RCA入力 (白・赤)
メインユニットのRCA出力を接続します。
- 2** 光デジタル入力 (青)
光デジタル出力のある製品を接続します。
- 3** スピーカー出力
内蔵アンプを使用する場合、付属のスピーカー出力コードを接続します。
- 4** 電源
付属の電源コードを接続します。
- 5** IP-BUS出力 (黒)
IP-BUS入力のある製品に接続します。
- 6** IP-BUS入力 (青)
IP-BUS出力のある製品を接続します。
- 7** RCAフロント出力 (白・赤)
RCAリア出力 (白・赤)
RCAセンター出力 (黒)
RCAサブウーファー出力 (黒)
RCA入力のある外部アンプと組み合わせるときに使用します。

接続 3 電源コードの接続

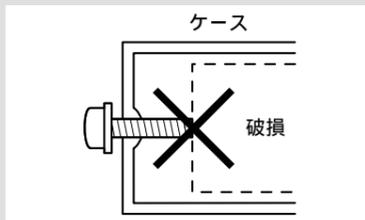
— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



取付 1 取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



助手席にエアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようにご注意ください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

アンプの放熱を妨げないために

本機は冷却効果を高めるため冷却ファンを使用しています。このため、冷却ファンの周辺は十分なスペースをあけて取り付けてください。また、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所への取り付けや、カーマットなどで本機全体を覆うなどの取り付けかたは絶対に行わないでください。



この部分をふさがないでください。

ノイズ防止のために

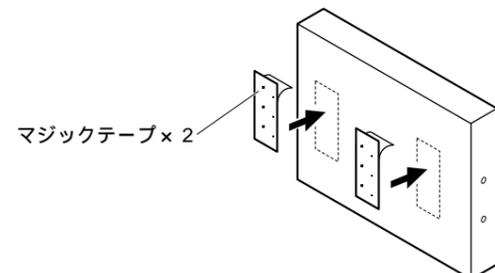
アンテナコードは、20ピンケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

取付 2 本体を取り付ける

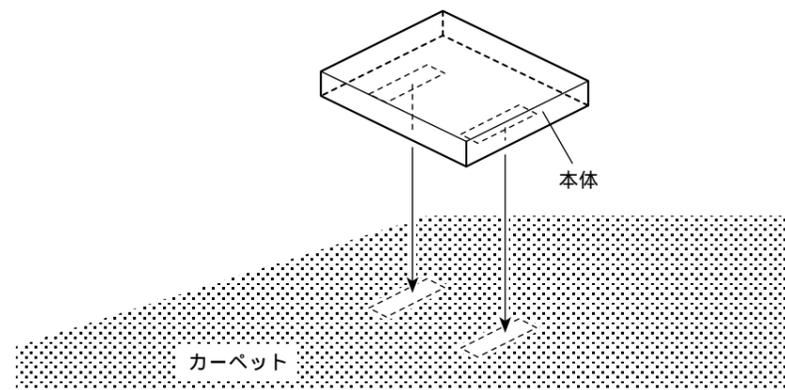
マジックテープを使用して取り付ける

1 付属のマジックテープを本機の底面に貼り付ける

マジックテープを張り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



2 カーマットに直接張り付ける



取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。

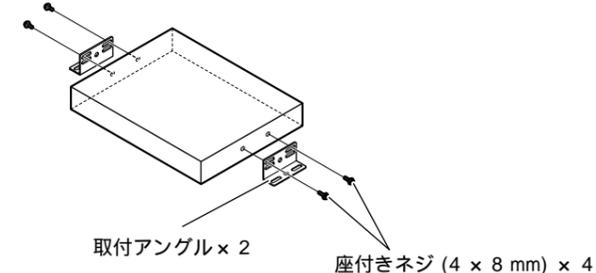
- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光のあたる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

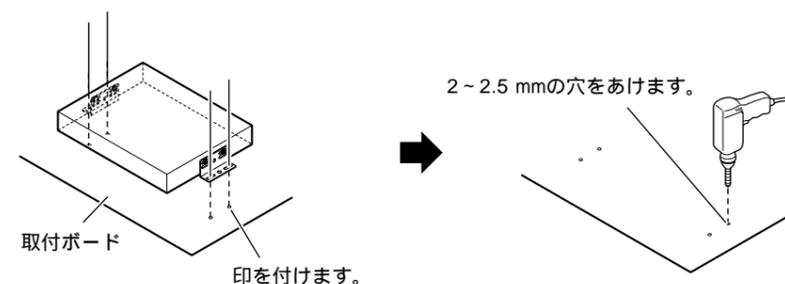
取付アングルを使用して取り付ける

1 取付アングルを本機に取り付ける

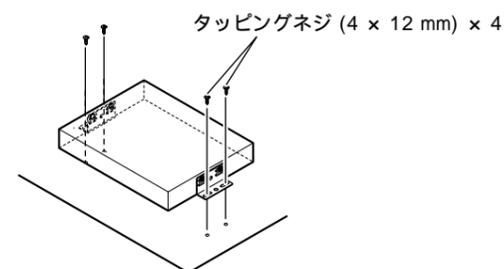
本機を車に取り付けるために、取付アングルを本機に取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



3 タッピングネジで、しっかり固定する



動作確認 1 動作を確認する

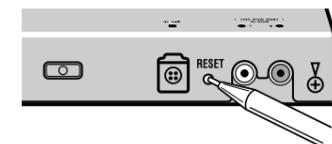
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見ても確認してください。

2 ポールペンの先などでリセットボタンを押す



3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する

(☞ 取扱説明書)